

令和2年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

京都乙訓農業改良普及センター

【農産物生産】

環境測定と天敵資材を活用してハダニ類を抑制

市町村	京都市	伴走支援 のポイント	天敵資材の導入に当たっては全農京都及びJA京都中央と共に支援し、その後のハダニ類の発生調査は普及センターが定期的実施した。
実施主体	田中 宏明		
事業費	309千円(補助金額:200千円)		
成果	観光イチゴ農園の開園に当たり安心安全な栽培を行うため、ハダニ類の天敵であるカブリダニを用いた資材「ミヤコバンカー®」を導入し、さらに環境測定装置を設置してイチゴ栽培と天敵の環境条件に留意したところ、栽培期間を通してハダニ類の発生を抑制することができた。		



ミヤコバンカーシート®設置の様子



環境測定データをモニタリング

【流通・販売】

米のブランド化・情報発信による販路拡大

市町村	京都市	伴走支援 のポイント	情報発信のツールについての助言などの支援を行った。
実施主体	嵯峨地域農場づくり協議会		
事業費	385千円(補助金額:200千円)		
成果	田植え、稲刈り等のイベントやSNSでの情報発信を通じて、地域住民に「古今嵯峨米」を知ってもらう良い機会となった。また、ブランド化により自然食品系のスーパーなど新たな販路開拓につながった。		



「古今嵯峨米」のブランドロゴ



試食イベントの様子

【6次産業】

パッケージによるブランド戦略で好調な加工販売

市町村	京都市	伴走支援 のポイント	新規就農2年目であり、補助事業の活用により定着を支援。
実施主体	浅本 克彦		
事業費	328千円(補助金額:200千円)		
成果	収穫したタケノコの一部を筍シューマイ(冷凍加工商品)に委託加工し、本事業で作成したパッケージ等によりブランド化と販売を強化したところ、好評で年内に完売することができた。		



筍シューマイのパッケージ



オリジナル段ボール

令和2年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

山城北農業改良普及センター

【農産物生産】

イチゴハウスで環境モニタリングを開始・環境をコントロール

市町村	宇治市	伴走支援 のポイント	機器導入及び選定の理由等を聞き取りながら、事業を進めた。
実施主体	若林 和志		
事業費	258千円(補助金額:172千円)		
成果	環境モニタリング機器の導入により、その場にいなくても、ハウス内の環境が確認できるようになった。また、導入した機器は、リアルタイム温度と併せて設定の目安となる「光合成最適温度」が表示される。これにより、勘ではなく、データに基づいた環境のコントロールが可能となった。		



取り付けられた環境モニタリング機器



測定したデータをもとに育苗中

【農産物生産】

ハナショウブ栽培で環境モニタリング装置等を導入し、安定生産へ！

市町村	城陽市	伴走支援 のポイント	湧水花き栽培における高品質切り花の安定生産に向け、ハウス内気温管理のポイントや土壌病害対策について、相談しつつ支援を進めた。
実施主体	倉田 浩平		
事業費	309千円(補助金額:200千円)		
成果	気温モニタリングシステムを導入することで、スマートフォンによる遠隔・監視が可能となり、適切な温度管理をこまめに実施することで、高品質な切り花が収穫できた。また、排水用自動動力ポンプの導入により、土壌病害抑制に向けて、湧水かけ流し栽培における適切な水管理が可能となり、安定生産を開始できた。		



おんどとり(左)の気温データはルーター(右)から携帯へ



水位感知自動排水ポンプで停滞水解消



採花(4~5月)

【農産物生産】

黄色LEDの設置により防除と作業時間短縮を実現

市町村	久御山町	伴走支援 のポイント	事業計画の策定、進捗管理の支援し、防除効果の検証を支援した。
実施主体	岡本 清		
事業費	193千円(補助金額:129千円)		
成果	点灯時間は時刻管理ではなく、照度センサーを用いて行い適切な点灯が可能となり、ナスのオオタバコガの防除回数を10回から5回に減らす事ができた。防除回数を減らしても品質、収量に悪影響は無かった。		



黄色LED点灯により害虫忌避



ナス圃場周囲にLEDを設置

令和2年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

山城南農業改良普及センター

【農産物生産】

冬季の所得確保に新たな品目（ネギ）に取り組む

市町村	木津川市	伴走支援 のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定及び進捗管理の支援。 ・育苗を中心とした栽培技術の習得及び省力化（機械化）の検討。
実施主体	北林 優作		
事業費	423千円(補助金額:200千円)		
成果	新たな品目としてネギに取り組む。自動灌水装置を導入し、育苗の省力化を図った。育苗については当初は失敗したものの徐々に技術が向上し、苗の確保が図れた。また関係機関の支援により、定植や出荷調整の機械化も検討、JA経由で加工業者に販売された。今年度の育苗は順調で、技術の向上がうかがわれる。		



自動かん水での育苗



出荷調整

【流通・販売】

商品の魅力はビジュアルで、DVD作成で商談会へチャレンジ

市町村	精華町	伴走支援 のポイント	コロナ禍で情勢が激動する中、規模拡大分含め将来的な販売力向上につながるよう事業支援を行った。
実施主体	中川 高志		
事業費	300千円(補助金額:200千円)		
成果	緊急事態宣言で撮影自体も危ぶまれたが、完成したPR用DVDを取引先に見てもらい好評であった。新たな取引に向けた本ツールを利用した商談はコロナ禍が落ち着いてから行う予定。		



DVD 人物紹介の場面



取引先にDVDの評価を聞き取る

【流通・販売】

オリジナル袋でダイコンの商品力をアップ

市町村	木津川市	伴走支援 のポイント	オリジナル袋導入による経営面の効果確認方法等について助言・支援を行った。
実施主体	市川 浩之		
事業費	390千円(補助金額:200千円)		
成果	ダイコンのオリジナル袋が徐々に認知され、お客様から問い合わせがあったり、店舗からは、「良い袋だ。目立っていいと思う。」と好評であった。また袋を大きくすることにより、市川さんのダイコンの「売り」の1つである「葉つきダイコン」にも対応が可能となった。		



「目立って良い」店舗からは非常に好評



葉つきダイコンを宇治駅マルシェで販売

令和2年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

南丹農業改良普及センター

【農産物生産】

適期防除と労力軽減のために農家組合がドローン防除オペレーターを育成

市町村	亀岡市	伴走支援 のポイント	・事業計画の策定及び進捗管理の支援 ・ドローン防除計画策定に向けた支援
実施主体	平松農家組合		
事業費	501千円(補助金額:200千円)		
成果	農家組合の若手2名がオペレーターの資格を取得でき、これまで作業時期が重なり大きな負担となっていた水稲、ビール麦、小豆及び飼料米での薬剤散布について、ドローンを活用した適期防除を実施するための人的体制が確保できた。		



ドローンスクールを受講(座学)



ドローンスクールを受講(実技)

【農産物生産】

地域の特産品として朝倉山椒の定着を目指す

市町村	南丹市	伴走支援 のポイント	・事業計画の策定及び進捗管理の支援 ・作業性、経済性について調査、情報提供
実施主体	ゆずの里 法京		
事業費	77千円(補助金額:51千円)		
成果	ゆず栽培の空き地等に朝倉山椒の苗木を定植した。ゆずに加えて朝倉山椒を地域の特産品として定着させ、実山椒の販売と加工品の開発を検討していく。		



山椒の定植作業



定植した苗木

【流通・販売】

黒大豆枝豆の販売促進イベントで売上確保

市町村	京丹波町	伴走支援 のポイント	・事業計画の策定及び進捗管理の支援
実施主体	丹波高原朝採り野菜部会		
事業費	303千円(補助金額:200千円)		
成果	コロナ禍でイベントが中止される中、黒大豆枝豆の売上げを確保するため朝採り野菜部会独自で販売促進イベント「枝豆まつり」を開催。チラシ配布を行うなど宣伝にも力を入れ、当日は約200名の来客で賑わった。		



のぼりと商品



枝豆まつり

令和2年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

中丹西農業改良普及センター

【農産物生産】

ドローン利用による薬剤散布で省力化を！

市町村	福知山市	伴走支援 のポイント	新たに農業用ドローンを導入することで農作業を効率化及び作業者の負担軽減 農業散布業務を受託して収益改善も検討中
実施主体	アグリサポート夢		
事業費	305千円(補助金額:200千円)		
成果	農業散布作業において農業用ドローンを導入したことにより、散布時間の短縮ができた。 JAから水稻の農業散布を受託したことで、新規事業として新たな収入源を得ることができた。		



水稻防除



小豆防除

【農産物生産】

トマトのフランチャイズ契約栽培で野菜部門の安定生産を！

市町村	福知山市	伴走支援 のポイント	トマトのフランチャイズ契約に向けた栽培技術を確立することにより販路を拡大した。
実施主体	植田 孝太郎		
事業費	340千円(補助金額:200千円)		
成果	フランチャイズ契約栽培により、収穫したトマトを全量買い取ってもらえるので安定した販路を確保することができ、売り上げの向上に繋がった。		



定植後のトマト



出荷直前のトマト

【農産物生産】

きゅうりハウスに自動開閉装置を導入し、作業効率を向上！

市町村	福知山市	伴走支援 のポイント	新たに法人化し、きゅうりの規模拡大を目指す農業法人に温度センサーと連動したハウス自動開閉装置を設置し、作業の省力化・効率向上を図った。
実施主体	(株)みまた農園		
事業費	452千円(補助金額:200千円)		
成果	新型コロナウイルスによる需要低下や夏の高温により、きゅうりの出荷金額は減少したが、これまで開閉作業を行っていた時間で収穫や調整作業ができるようになり、作業の省力化・効率向上効果が確認できた。		



巻き上げ機(左手前)を設置



1つの制御装置で3棟を一括制御

令和2年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

中丹東農業改良普及センター

【6次産業】

新たなどぶろくの開発に挑戦し、販促資材の活用で販路拡大！

市町村	舞鶴市	伴走支援 のポイント	「京都中丹いちおし商品フェア」への出店や、商談会への参加といったPR機会の紹介の支援を行った。
実施主体	株式会社 椋本営農		
事業費	216千円(補助金額:143千円)		
成果	どぶろくの開発に取り組み、甘酒のように甘く、きれいな桃色の濁酒に仕上がった。新しい瓶のサイズとラベルの作成により、通常のものより、完売する期間が短くなった。大丸京都店において実演販売を行ったが好評で完売した。小売酒店も3軒の卸先ができた。		



オリジナルのラベルを貼り付けしたどぶろく



チラシで東舞鶴のどぶろくの歴史とこだわりをPR

令和3年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

丹後農業改良普及センター

【農産物生産】

経営の端境期を活用したさつまいも栽培の導入

市町村	京丹後市	伴走支援 のポイント	・事業計画の策定及び進捗管理の支援。 ・栽培期間中の病害対応。
実施主体	西垣 辰則		
事業費	240千円(補助金額:160千円)		
成果	さつまいも及びイモ苗生産を行うことで既存の経営品目では収益がない時期に収益が入るようになった。今後はさつまいも生産の面積を拡大して取組ことを考えられている。		



さつまいも育苗苗中



砂丘畑で栽培中

【流通・販売】

販促活動や農場での取り組み紹介を通じ新規顧客を獲得

市町村	京丹後市	伴走支援 のポイント	事業化するために生産者の要望を聞き取り、事業主旨に沿った計画の作成を支援し、その計画の進捗状況の管理を行った。
実施主体	大佳農産(成田大輔)		
事業費	121千円(補助金額:81千円)		
成果	オリジナルにんじんジュース「弥栄(いやさか)」をPRするためのラベルの作成や直売活動と、「大佳農産」の認知度を上げるためのリーフレットを作成した。産直サイトを通じた販売も行っており、そこで新たな顧客獲得に繋がっていると実感している。		



丹後地域のアンテナショップで販促活動



リーフレットで年間栽培品目を紹介

【6次産業】

規格外のエビイモを利用した加工品の開発

市町村	与謝野町	伴走支援 のポイント	普及計画にも盛り込まれ、丹後地域で生産が広がっているエビイモについて、廃棄対象の小さなエビイモを活用した、加工品のアイデアを一緒に検討した。
実施主体	森垣 剛		
事業費	328.062千円(補助金額:200千円)		
成果	エビイモを活用し、冷凍のコロッケと茹でいもを作成。イラストやラベルも作成し、野菜の駅や給食センターへ販売した。特に、給食センターからの評価が高く、近隣の他の生産者からもエビイモの規格外品を購入しながら作成し、規格外品の有効活用および生産者の所得向上に繋がった。		



オリジナルのイラスト



(左) 冷凍茹でいも、(右) 冷凍コロッケ